

十日市場団地地区 地区別計画

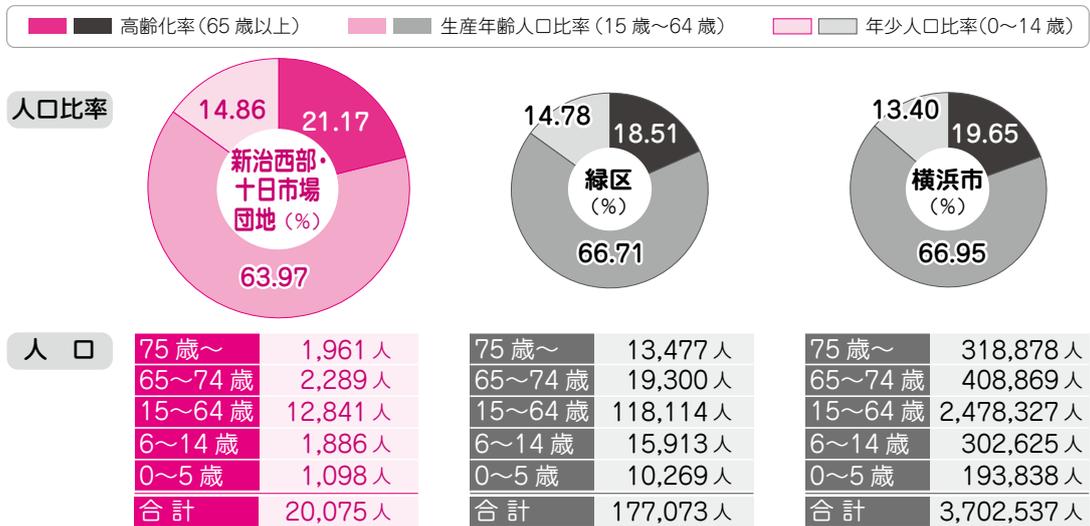
(平成 23 年度～平成 27 年度)

十日市場団地地区別計画策定委員会

地域 十日市場団地地区

昭和34年から39年にかけて建てられた市営十日市場住宅を中心とした地区。建物の老朽化に伴い、十日市場ヒルタウンとして平成3年から全面的な建替えを実施。高層化により人口も増加傾向にある。ヒルタウンの名称のように、丘陵状の地形に計画的に整備されている。

<年齢区分別人口>



注) 上記の「新治西部地区・十日市場団地地区」の人口データには、新治町、十日市場町及び長津田みなみ台7丁目のデータを集計しています。

- 高齢化率 21.17%は、緑区の 18.51%より 2.66%、横浜市の 19.65%より 1.52%、それぞれ高くなっている。
- 生産年齢人口(15歳~64歳)の割合 63.97%は、緑区の 66.71%より 2.74%、横浜市の 66.95%より%、それぞれ低くなっている。

平成 22 年 (2010 年) 9 月末



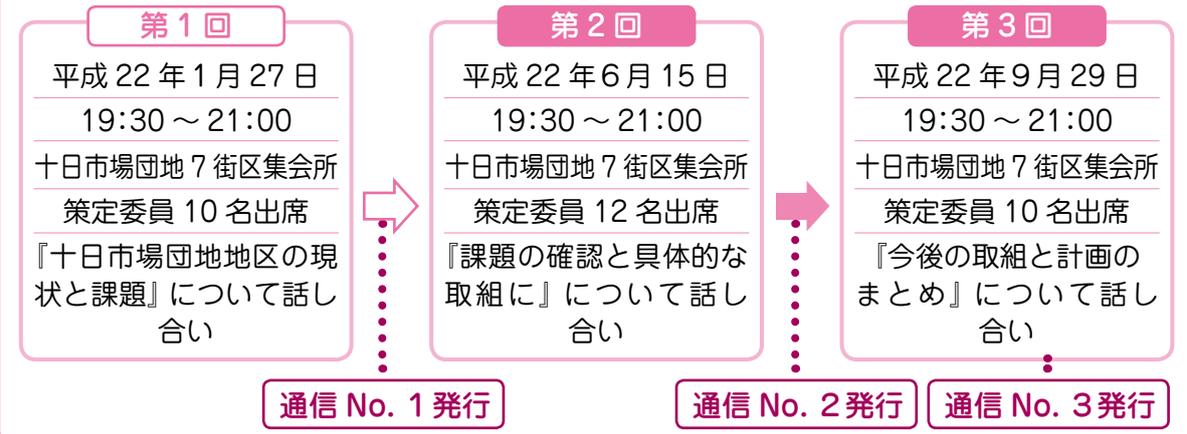
<十日市場団地地区 地区別計画策定委員>

(五十音順、敬称略、○:委員長)

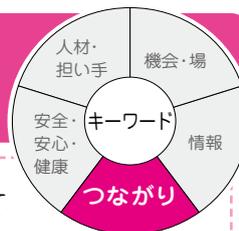
- 石原笑美子 ● 岩崎 澄子 ● 梅田 由香
- 大熊美和子 ● 岡崎 三雄 ● 川隅やす子
- 小林富美子 ● 白田 邦彦 ● 大門 正代
- 平井 仁女 ● 本田 富男 ● ○村上 禎介

地域で目指すべき目標や具体的な取組内容について話し合いました。

地区別計画策定委員会の開催状況



十日市場団地が団結して、地域の「つながり」を作っていこう



十日市場団地地区は、以前に比べ高齢化がすすみ、単身世帯も多くなっています。残念ながら、孤独死も年を追うごとに多く耳にするようになりました。一方で、子育て世代の転入も多く、地域につなかりのない養育者が孤立した子育てをしているおそれもあります。十日市場団地地区においてもすでにいろいろな取組をしていますが、災害などいざというときでもすぐにお互いが助け合えるような、顔の見える関係＝「つながり」を日ごろからつくっていくことが大切です。

つながりをつくることの大切さを共有しよう

【具体的な取組(例)】

- 日ごろからあいさつをし合う
- 自治会活動をはじめ、老人会や子ども会など、地域活動に参加しやすくするよう工夫
- 清掃活動に誘うことでつながりのきっかけに
- 玄関ポストがいっぱいになっていないか様子を見る
- 子どもたちと高齢者など、多くの世代が交流することで、地域の活動を活性化
- 中学生ボランティアの活動の場を広げる
- 地域ケアプラザや地域子育て支援拠点いっぽなど、地域の施設を利用する
- 個人情報保護も留意しながら、できる限り情報を把握できるよう、自治会でのルール作りを検討

顔の見える関係＝「つながり」づくり

【期待できる効果】

- 災害時などにお互いの安否確認や助け合いがしやすくなる
- 孤独死を防ぐことができる
- 子育てを地域で支えることができる
- ……など

今後の十日市場団地での取組の中で話し合い、さらに具体化していきましょう

このためにも…

いつでも支えあえる十日市場団地に!

誰もが安心して暮らし続けられる緑区をめざして
一人ひとりの生活・社会を築いていこう

みどりのわささえ愛プラン

緑区 地域福祉保健計画
地域福祉活動計画

十日市場団地地区別計画
策定委員会
平成22年4月発行

十日市場団地地区別計画策定委員会通信 No. 1

みどりのわ・ささえ愛プラン地区別計画策定に向けて第1回委員会を開催しました。



去る平成22年1月27日に、十日市場団地7街区集会場において十日市場団地地区別計画策定委員会（委員長：村上十日市場団地連合自治会長）を開催しました。

寒い中ではありましたが、十日市場団地地区の現状について、委員の皆さんから熱く語っていただきました。



みどりのわ・ささえ愛プランとは…

かけがえのない一人ひとりが、どんな時にも自分らしく、充実した生活ができるように、区民・団体・事業者・地域ケアプラザ・社協・区役所等が協働し共に支え合うまちづくりを進めていくための計画です。

十日市場団地地区の現状を改めて認識しました。

以前に比べ高齢化が進み、単身世帯も多くなっています。

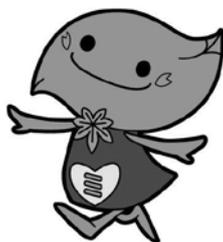
悲しい話ですが、孤独死が年々増えているように思います。

見守ることができるように良い方法をみんなで考えていく必要があると思います。

できるだけ、安否などの状況を把握するよう取り組んでいます。

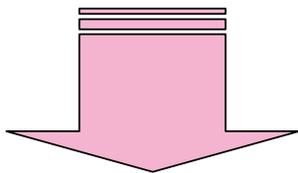


子育て世代の転入などにより、子どもも増えてきています。



子ども会などの活動をもっと活性化させたいです。

高齢者との世代間交流も考えられるのではないのでしょうか。



十日市場団地地区がこのようになればいい、と様々な意見ができました

**人と人とのつながいを
もっと作れるようにしたい。**

地域でもっと連携できれば孤独死はふせげるのではないか。

地域で連携することの重要性をもっと知ってもらいたい。

地域の活動に、より参加しやすくするにはどうしたらよいか。

地域の機関（行政や地域ケアプラザなど）とのつながりもつくっていききたい。

自治会に加入していないところにどうアプローチしていくか。

世代間の交流はよいことだと思う。お互いにメリットがある

策定委員会の今後のすすめかたについて

上記のような意見などをもとに、次回以降の委員会は、さらに色々な角度から検討できるよう、より多くの方の声を聴きながらすすめていきたいと考えています。

【十日市場団地地区別計画策定委員】

| | | |
|--------|-------|--------|
| 石原 笑美子 | 岩崎 澄子 | 梅田 由香 |
| 大熊 美和子 | 岡崎 三雄 | 川隅 やす子 |
| 小林 富美子 | 白田 邦彦 | 大門 正代 |
| 平井 仁女 | 本田 富男 | ○村上 禎介 |

(五十音順、敬称略 ○は委員長)



＜連絡先＞
十日市場団地地区別計画策定委員会
事務局 TEL：930-2431
(緑区 こども家庭支援課長)

誰もが安心して暮らし続けられる緑区をめざして
～一人ひとりが主体・共に考えあうつながりがあるまちづくり～

みどりのわ・ささえ愛プラン

十日市場団地地区別計画策定委員会通信 No.2

みどりのわ・ささえ愛プラン地区別計画策定に向けて第2回委員会を開催しました。

去る平成22年6月15日に、十日市場団地7街区集会所において十日市場団地地区別計画第2回策定委員会（委員長：村上十日市場団地連合自治会長）を開催しました。



今回は、第1回の策定委員会における検討内容を振り返りつつ、地域における課題についてすでに行っていることや今後取り組みそうなことなどを、課題ごとにグループで討議しました。



今回検討した課題

高齢者について

以前に比べ高齢化が進み、単身世帯も多くなっています。

子育て・子どもについて

子育て世代の転入などにより、子どもも増えてきています。

見守り

地域活動

子ども会

子育て支援

孤独死

つながり

担い手

いじめ

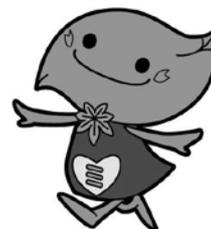
個人情報保護

不登校



グループ討議では、このような意見が出されました

| | | すでに取り組んでいること | 今後取り組みそうなこと |
|---------|--|---|---|
| 子育て・子ども | 高齢者 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 民生委員による訪問事業 ・ 回覧板をドアノブにかける ・ ポストが郵便物でいっぱいになっている場合の安否確認 ・ 日ごろのあいさつや立ち話 ・ 老人会や地域の集まりの参加を、人づてに呼びかけ ・ 年末助け合い時に70歳以上の単身高齢者を把握 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 班ごとで、安否を確認する方法等を検討し、隣が見える団地の強みを活かす。 ・ 「老人会」をもっと参加しやすい名称に変更したらどうか。 ・ 個人情報保護の観点から役員だけに名簿閲覧を限定。その代わりに、電話番号などの必要情報を把握できるようにしてはどうか。 ・ 子どもとの交流の場を設ける。孫と交流するような感覚で参加しやすい。 |
| | 乳幼児 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 生後4か月までの「こんにちは赤ちゃん訪問」（家庭訪問） ・ 区役所による赤ちゃん教室の実施（第一子、0歳対象） ・ 地域子育て支援拠点いっぽ、十日市場地域ケアプラザ、保育園での事業 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 世代を超えた交流（子どもと高齢者、乳幼児と子ども会、卒業生と子ども会、中学生ボランティアの活動など） ・ 自治会と子ども会とのさらなる連携 ・ 子ども会に参加できない子どもへのサポート ・ いじめなどに対して地域で問題解決していくために、こどもに声かけをしていければよい |
| | 子ども会（小学生） | <ul style="list-style-type: none"> ・ 行事についての話し合いの実施 ・ 任意加入から強制加入への変更 ・ 知っている子どもへの声かけ ・ 子ども会同士の横のつながり（子ども会連絡協議会） ・ 子ども会活動に対する自治会の支援 | |
| 中学生 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 社協主催の中学生ボランティア活動の実施 ・ いじめを行なっていそうな様子を見かけたら声かけをしている。（ただ、『うるせえ』と言われたりして、後が怖いとの意見もあり。） | | |



策定委員会の今後のすすめかたについて

次回の地区別計画策定委員会では、十日市場団地地区別計画（素案）を策定していきます。

【第2回 十日市場団地地区別計画策定委員】

| | | |
|--------|-------|--------|
| 石原 笑美子 | 岩崎 澄子 | 梅田 由香 |
| 大熊 美和子 | 岡崎 三雄 | 川隅 やす子 |
| 小林 富美子 | 白田 邦彦 | 大門 正代 |
| 平井 仁女 | 本田 富男 | ○村上 禎介 |

（五十音順、敬称略 ○は委員長）



<連絡先>

十日市場団地地区別計画策定委員会
事務局 TEL：930-2431
（緑区 こども家庭支援課長）

誰もが安心して暮らし続けられる緑区をめざして
一人ひとりが支え、共に支えあうつながりのあるまちづくり

みどりのわささえ愛プラン

十日市場団地地区別計画策定委員会通信 No.3

みどりのわ・ささえ愛プラン地区別計画策定に向けて第3回委員会を開催しました。



去る平成22年9月29日に、十日市場団地7街区集会所において十日市場団地地区別計画第3回策定委員会（委員長：村上十日市場団地連合自治会長）を開催しました。

今回はこれまでの策定委員会における検討内容を振り返りつつ、地域において今後も引き続き取り組めそうなことや、今後取り組むべき目標などを、委員全員で話し合いました。

地域福祉保健計画・地域福祉活動計画とは…

かけがえのない一人ひとりが、どんな時にも自分らしく、充実した生活ができるように、区民・団体・事業者・社協・区役所が協働し共に支え合うまちづくりを進めていくための計画です。

これまでの地区別計画策定委員会の開催状況

第1回
平成22年1月27日
19:30~21:00
十日市場団地7街区集会所
策定委員10名出席
『十日市場団地地区の
現状と課題』について
話し合い

通信 NO.1

第2回
平成22年6月15日
19:30~21:00
十日市場団地7街区集会所
策定委員12名出席
『課題の確認と具体的な
取り組み』について
話し合い

通信 NO.2

第3回
平成22年9月29日
19:30~21:00
十日市場団地7街区集会所
策定委員10名出席
『今後の取り組みと計画
のまとめ』について
話し合い→素案完成

十日市場団地地区の現状と課題、どのようにして
いったらよりよい地区になるのか、熱心な話し合
いが行われました。



地域で目指すべき目標や具体的な取組内容について話し合いました。

つながりをつくることの大切さを共有しよう

【具体的な取組み(例)】

- 日ごろからあいさつをし合う
- 自治会活動をはじめ、老人会や子ども会など、地域活動に参加しやすくするよう工夫
- 清掃活動に誘うことでつながりのきっかけに
- 玄関ポストがいっぱいになっていないか様子を見る
- 子どもたちと高齢者など、多くの世代が交流することで、地域の活動を活性化
- 中学生ボランティアの活動の場を広げる
- 地域ケアプラザや地域子育て支援拠点「いっほ」など、地域の施設を利用する
- 個人情報の保護も留意しながら、できる限り情報を把握できるよう、自治会でのルール作りを検討

顔の見える関係「つながり」づくり

【期待できる効果】

- 災害時などにお互いの安否確認や助け合いがしやすくなる
- 孤独死を防ぐことができる
- 子育てを地域で支えることができる

…など

いつでも支えあえる
十日市場団地に！

今後の十日市場団地での取組みの中で話し合い、さらに具体化していきましょう

このためにも…

地区別計画(素案)の策定について

3回の策定委員会の内容をもとに、十日市場団地地区別計画(素案)を策定します。

【第3回 十日市場団地地区別計画策定委員】

| | | |
|--------|-------|--------|
| 石原 笑美子 | 岩崎 澄子 | 梅田 由香 |
| 大熊 美和子 | 岡崎 三雄 | 川隅 やす子 |
| 小林 富美子 | 白田 邦彦 | 大門 正代 |
| 平井 仁女 | 本田 富男 | ○村上 禎介 |

(五十音順、敬称略、○印は委員長)



<連絡先>

十日市場団地地区別計画策定委員会
事務局 TEL：930-2431
(緑区 こども家庭支援課長)